

Topic

市長と語ろう! タウンミーティング

～ 地域づくり・活性化に取り組むグループと語る北秋田市 ～



松岡 正徳 氏 羽根山創生グループ
伊藤 武 氏 新舟見町自治会
長岐 直介 氏 おさるべ元気くらぶ
柏木 静男 氏 荒瀬かだまり
三浦 栄一 氏 ファシリテーター
津谷 永光 北秋田市長

北秋田市のまちづくりや行政課題などを市長と市民が語り合う「市長と語ろう! タウンミーティング」が、12月12日(日)に市民ふれあいプラザで開催されました。ファシリテーターに三浦栄一氏を迎え、地域で活躍している4団体の代表者が「地域づくり・活性化に取り組むグループと語る北秋田市」をテーマに、トークディスカッションを通して津谷市長と意見を交わしました。

◆参加4団体の代表

- 柏木静男氏(荒瀬かだまり事務局長)
- 長岐直介氏(おさるべ元気くらぶ代表)
- 伊藤 武氏(新舟見町自治会長)
- 松岡正徳氏(羽根山創生グループ代表)

◆荒瀬かだまり
「フスタルジの発露」と「人生のタイミング」という偶然から、幼なじみと昔の遊び場に行ってみようということにきっかけに「露熊プロジェクト」を始動。景勝地「露熊山峡」の景観を復活させ、多くの人が訪れる場所にするために幼なじみや移住者たちと整備を行っている。

◆おさるべ元気くらぶ
「おさるべ地区に元気がない」

とつことで、龍泉寺住職の呼び掛けにより有志7人で取り組みを始める。県指定文化財「長岐邸」を拠点に整備や学習会等の活動を行う。伝統行事「葛黒の火まつり」かまくら」の復活や、地域の特産物づくりに取り組んでいる。

◆新舟見町自治会
自主防災組織を起ち上げ、作成した「非常用持出袋」を用いて「避難マップ」を活用しながら、年2回の避難訓練を行う。また、有事の際に有効な避難世帯が確認できる「避難フラッグ」を玄関先に掲示することや、雪まつりで「雪の水神様」「ミニかまくら」を制作するなど、特色ある取り組みを展開している。

◆羽根山創生グループ
高齢化、人口減少が進行する中、地域の活力ある街づくりを目的に「羽根山創生プロジェクト」を発足。ピザ窯、BBQ窯、燻製窯を自分たちで製作し、地域のイベントなどで活用。地域の交流、集落と移住者や世代間交流などにより、地域の活性化に取り組んでいる。

◆ディスカッション4テーマ
●「地域づくり、地域活性化のための取り組みの経緯と内容」

●「実際に取り組んでみての感想」
●「他の団体が行っている取り組みのヒントやコツ」
●「今後の方向性・将来像」

4団体とのディスカッションを終え、津谷市長は「皆さま方の取り組みは、地域に対する熱い思いがなければできないし、熱い思いを持っているからこそ一緒に活動する仲間がいる。今後もその熱量を維持して、これからも元気に頑張っていきたい」などと全体的な感想を述べていました。

また、最後にファシリテーターの三浦氏が「市長と同じく熱量を感じている。皆さまの活動は、たくさんの宝物が詰まった取り組みだと思ふ。皆さま方とのトークを通して、大事な顔の見える交流の場が必要であると改めて感じた。皆さまのように楽しみながら、できることをできるときにやることが地域づくりや活性化の醍醐味なのだろうとしみじみ感じている」などと今回のタウンミーティングを総括しました。

※北秋田市ホームページで報告書等を掲載しています



公民館活動 ～ 地域で学び、活動する皆さんを応援します～

生涯学習 文化振興 学校 スポーツ 北秋田市教育委員会

学びの広場

比立内比靖会の松橋悦治さんが受賞

～令和3年度秋田県民俗芸能功労者表彰～

県内の民俗芸能の保存・伝承に功績のあった人物を表彰する秋田県民俗芸能功労者表彰が行われ、比立内比靖会の松橋悦治さん(享年77歳)が受賞しました。

松橋さんは、長年にわたり比立内比靖会会長を務め、市指定無形民俗文化財「比立内獅子踊」の継承に尽力されたほか、地域の小中学生を対象に駒踊りや笛の指導を行うなど次世代への伝承にも貢献され、その功績が認められ今回の受賞につながりました。



▲代理で表彰状を受け取るご家族(下段中央)

合川公民館改築現場で上棟式

～合川小学校児童たちが餅まき行事を体験～

改築が行われている合川公民館の上棟式が11月12日に行われ、合川小5、6年生が、最近では珍しくなった上棟式の文化を体験しながら、建築現場で働く職人の仕事を知る機会に恵まれました。

児童たちは公民館の建築現場に入り、工事関係者から「上棟式は木造家屋の骨組みが最後まででき、新しい家に魂を込める伝統儀式」と説明を受けた後、祈願や餅まき行事を体験しました。あいにくの雨模様での開催となりましたが、児童たちは餅やお菓子が振る舞われるたび、夢中で拾い集めていました。



▲地域の公民館が無事に完成するよう祈願

新しい合川公民館は、4月下旬のオープン予定となっています。

方言・秋田弁の良さを再確認

～第5回森吉大学学習会～

12月1日、森吉コミュニティセンターで森吉地区の高齢者大学「森吉大学」の学習会が開催されました。今回は庄司邦昭学長が講師となり「秋田県と北秋田地域の方言～未来に残したい方言～」と題して講演し、標準語・共通語との違いや、地方・地域によるバラエティに富んだ表現、方言が古語の名残りであることなどについて丁寧に解説され、よく知った方言が登場すると、参加者はうなずいたり、時折笑い合いながら話に聴き入っていました。

最後に一人ひとりが、たくさんの秋田弁の中から



▲方言について学んだ学習会の様子

使われなくなった言葉、未来に残したい言葉を整理して書きとめ、普段何気なく使っている「方言」の持つ温かみと良さを再認識しました。